

事務事業シート(事業仕分け)

担当部・課	くらし環境部 市民安心課
シート作成担当者 係・氏名	交通防犯係
連絡先電話番号	

整理番号	26	3	9-2
------	----	---	-----

事業名	バス路線運行維持助成経費		事業開始年度	平成11年度・平成20年度	事業終了(予定)年度	—
総合計画の位置づけ	大綱	1. 都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち				
	施策の柱	1-3公共交通基盤の整備				
	重点的取組	■ 重点的取組・重点プロジェクト				
	取組名	1-3 バス運行体系の強化				

根拠法令等	区	分	■その他
	名	称	島田市バス路線維持費補助金、バス路線維持費負担金
事業区分		■ 補助金・交付金	

目的	1 対象(何を、誰を、どの地域を)	対象	対象の範囲		単位
	■ 企業・団体 しずてつジャストライン、牧之原市(本市・菊川市と共同運行)		① 市民等		人
			②		
	③				
2 意図(どのような状態にしたいか)	事業の成果	成果を表す指標		単位	
市民の生活交通を確保するため、しずてつジャストラインの路線バスに対して、欠損補助を継続するとともに、牧之原市に対する負担金を継続する。		① 自主運行バス利用者数(萩間線・勝間田線)		人	
		② 金谷島田病院線利用者数		人	
	③ 補助金・負担金額		円		
内容	3 手段(目的を実現するために、市が具体的に行っていること)	事業の実績	実績を表す指標		単位
	補助金及び負担金の交付 OD調査(乗降調査)による利用状況の把握		① 負担金額(萩間線・勝間田線)		円
			② 補助金額(島田金谷病院線)		円
		③			
<p>1. 対象路線 (1)萩間線 (2)勝間田線 (3)金谷島田病院線(島田市民病院系統・島田駅系統)</p> <p>2. OD調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 1路線の始発から最終まで全ての停留所ごとの乗降者数を調査する。 調査結果により、運賃収入額を算定し、経費等を差し引いた額(欠損額)を補助する。 <p>3. 実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> OD調査は、萩間線・勝間田線は、6月、金谷島田病院線は、9月と2月に行う。 <p>4. 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人1組で始発から各時間のバスに乗る。 乗車側の職員が、乗客に乗車位置番号を記したカードを渡し、主旨説明と降車時 					

背景(必要性)	事業の開始時期における社会的背景や事業の必要性	<p>萩間線及び勝間田線</p> <p>当時の静岡鉄道から路線廃止の申し出があり、金谷町、榛原町、相良町、菊川町が協議して、赤字補てんのための補助金を交付して共同で自主運行する路線として存続させることを決定した。特に、金谷町、榛原町、相良町は児童・生徒の通学需要を担っていたことから存続の必要性が高いものと判断した。</p> <p>金谷島田病院線</p> <p>しずてつジャストラインの民間路線として収支が取れていたが、利用者の減少が進み、減便による経費削減を実施したが収支改善しないことから、市に補助金の要望があった。金谷地区と島田地区を結ぶ路線としての重要性が高いと判断した。</p>
	上記の状況はどのように変化しているか	少子化に伴う通学需要の減少などの理由により利用者は年々減少している。

効果・成果の説明	高齢者や免許を持たない市民などの生活交通確保に一定の効果을あげている。
----------	-------------------------------------

過去の見直し内容	平成23年度(平成22年運行分)から、欠損補助方式を委託方式に変更した。(萩間線・勝間田線)
廃止した場合の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・路線沿線の交通弱者の移動手段がなくなる。 ・仮に代替として、島田市コミュニティバスの新規路線を敷設した場合、経費が増加する。 ・萩間線・勝間田線沿線には金谷小学校に通学する児童の利用が多く、スクールバスなどの導入も検討する必要がある。
民間委託・民営化の受け皿	<ul style="list-style-type: none"> ■ なし → 市が直営で実施しなければならない理由 不採算事業であるため、既に民間事業者の参入は考えられない。
国・県・他市町、民間等での類似事業	藤枝市 葉梨線
市における類似事業	
課題・今後の方向性等	金谷島田病院線については、事業を継続していく。萩間線・勝間田線については、近隣市をまたがる路線であるため、単独での廃止・改善はできないので、近隣市と連携して協議していく。

(金額単位:千円)

対象	対象の範囲 実績・成果の指標	基準値 目標値	H23(実績)		H24(実績)		H25(実績)		H26(目標)	
			実績値	達成率等	実績値	達成率等	実績値	達成率等	目標値	達成率等
対象	① 市民等									
	②									
	③									
事業の実績	① 負担金額(萩間線・勝間田線)		10,492		10,710		10,914		13,509	
	② 補助金額(島田金谷病院線)		8,613		9,932		10,050		11,466	
	③									
事業の成果	① 自主運行バス利用者数(萩間線・勝間田線)		163,369		153,684		129,248		123,000	
	② 金谷島田病院線利用者数		127,771		119,577		112,573		107,000	
	③ 補助金・負担金額		19,105		20,642		20,964		24,975	

(単位:円)

事業費の内訳	内 容	金 額	積 算 等	
事業費の内訳 平成25年度 決算見込み	総務費負担金	10,914,374		
	総務費補助金	10,049,501		
合計		20,963,875		

(金額の単位:千円、但し市民一人当たり負担額の単位は円)

事業費	直接事業費	財源内訳	H23(決算)			H24(決算)			H25(決算見込)			H26(予算)			
			正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	
事業費	直接事業費	国庫支出金													
		県支出金		3,038			3,065			2,630			3,022		
		地方債													
		その他													
		一般財源		16,068			17,578			18,334			21,953		
		財源計(a)		19,106			20,643			20,964			24,975		
	人件費	職員		正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
		人工(b)		0.5			0.5			0.5			0.5		
		1人当たり人件費(c)		7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741
		人件費(d=b×c)			3,623			3,623			3,623			3,623	
事業費合計(e=a+d)				22,729			24,266			24,587			28,598		
	市民一人当たり負担額(f=(a)/10万人)			227			243			246			286		